

# 名古屋外国語大学海外派遣プログラム成果報告書

2024年 6月 3日

学部・学科名 言語教育開発センター

担当教員氏名 齋藤 絢

1. 区分	中期留学 ・ <b>語学研修</b> ・ 海外実習						
2. プログラム名称	2023年度夏期韓国語研修						
3. 渡航先国名	大韓民国						
4. 派遣期間	2023年 8月7日(月)～2023年8月25日(金) 19日間						
5. 派遣先教育機関名	釜山外国語大学校						
6. 参加学生数	29 名						
7. 派遣目的	釜山外国語大学の韓国人教員による授業（リスニング、会話、読解、作文や韓国文化に関する内容）及び文化体験プログラムに参加し、韓国語運用能力を向上させ、韓国文化に対して理解を深める。						
8. 派遣内容	<p>ープログラム概要</p> <table border="1"><thead><tr><th>韓国語授業 (文法・会話・韓国文化・韓国社会)</th><th>文化体験</th><th>学生交流</th></tr></thead><tbody><tr><td>60時間</td><td>4回</td><td>3回</td></tr></tbody></table> <p>韓国語短期研修は、大きく韓国語授業（文法・会話・韓国文化・韓国社会に関する内容）、文化体験、学生交流会の三つの内容で構成されている。日にちに応じて韓国語授業、文化体験、学生交流会の日程が組まれている。</p> <p>一日の日程は、午前（50分×4コマ：9時00～9時50分、10時00分～10時50分、11時00分～11時50分、12時00分～12時50分）と午後（50分×2コマ）で構成され、文化体験および学生交流会は午後に設定され、内容によって午後から夕刻にかけて実施される。</p>	韓国語授業 (文法・会話・韓国文化・韓国社会)	文化体験	学生交流	60時間	4回	3回
韓国語授業 (文法・会話・韓国文化・韓国社会)	文化体験	学生交流					
60時間	4回	3回					

	<p>韓国語授業のクラスは研修実施前に実施される事前レベル分けテストによって1級から4級まで参加者が割り振られる。本学の参加者は大きく初級・中級レベルに割り振られ、釜山外国語大学が開講するクラスの上位レベルのクラスにて韓国語授業を受講する環境にあった。</p> <p>授業の内容構成は、週に五つから六つ程度のテーマが設定され（第二週実施テーマ例：余暇の活動，生活の工夫，気分と感情，文化，韓国の食文化，韓国語の発音）、クラスの水準に応じた文法を取り入れ、会話・リスニングへと発展させる実践的な授業内容が組み込まれている。参加者は、リスニング力、会話力、読解力、文章表現を習得するとともに、韓国文化への理解を深め、受講生が積極的に参加し韓国語の言語能力を向上させることを目的とした授業が展開される。</p> <p>また、全日程のうち全4回にわたり文化体験としてクルーズツアー、ロッテワールド、韓国料理体験、慶州旅行（日帰り）が実施された。学生交流会では、現地の韓国人学生との交流を楽しめる企画が準備され、学習者が韓国社会・韓国文化を身近に感じながら言語力の向上につなげていくための工夫がなされている。</p> <p>研修終盤では各クラスで成績評価があり、修了証明書の発行とともに成績評価が提示される仕組みとなっている。</p>
<p>9. 成果</p>	<p>コロナ禍で韓国語短期研修の対面での参加が見送られてきたなか、2023年度の研修ははじめて現地に渡航し、韓国の文化・社会を肌で感じる時間となった。オンライン開催時では感じられない社会のスピード感や韓国の方々のエネルギッシュな活動に直接触れることで、韓国語はもちろんのこと、現地の生活文化や人々の暮らしを見て学び、それらの経験は言語と社会・文化との関係を理解することに繋がったものとする。</p> <p>参加者 29は無事修了書を受け取り日本への帰国を果たした後、一つの課題として研修の成果報告書の作成があり、各自三週間の研修内容を振り返る時間を持った。報告書では、韓国語の言語スキルの上達を感じただけでなく、現地での学生交流や市内観光で体験した現地の人々との交流を通じて、現地での実生活に必要な韓国語がどのよう</p>

	<p>なものを直接感じたことが何よりもの習得であったという感想が多く挙げられた。教室のなかでは見えない韓国の動的な社会に触れ、文化を学び尊重する参加者たちの声が伝わる成果報告書となった。</p> <p>本研修は研修は韓国語学習者が段階的に韓国語を学び、実践的な言語の運用力を身につける上で効果的な学びの場となり、韓国を多角的に学ぶ充実した研修内容であったことを報告する。</p>
10. 備考	

以上

【2023 年度 PLP 韓国語短期研修，フォーマット】

作成日：2023 年 10 月 25 日

タイトル 短くも有意義な 3 週間	
世界共生学部	世界共生学科 氏名 堤 琴音
<p>今回の釜山研修では、会話をする機会や現地ですぐに暮らすことで文化を実際に体感することを通して、会話力の向上や韓国文化の理解をより深めることを目的として参加しました。</p> <p>まず、釜山外国語大学のキャンパスは、釜山の中でも少し山中にあり、現地の方々のローカルな雰囲気を感じることが出来る地域だと感じました。しかし、山中ではあるものの、釜山の繁華街である西面駅には、キャンパスからバスと地下鉄で 30 分程度で行くことができ、とても良い立地であると感じました。個人的には、釜山はソウルに比べて地元感を感じることができ、人と人とのコミュニケーションをより大切にしていると感じました。過去に個人旅行でソウルを訪れた際と比較しても、街中を歩いていて話しかけられたり、ショッピングをしている際に会話が弾んだり、会話をする場面が多いように感じました。この面が会話力を向上させるのに繋がったと感じます。</p> <p>授業では、上級のクラスに参加しましたが、韓国の食文化や地域の特徴、旅行、造語など様々なテーマに沿って内容に関する単語を学び、長文を読んでそこから感じたことや日本と違うことを意見交換するなどの構成でした。また各テーマの内容に沿った制作活動などがありました。例を挙げると、地域の特徴では自身の故郷を韓国語で紹介する発表、旅行では韓国や日本から好きな地域を選んで自身で旅行のパッケージを組んで他の学生に発表するというものがありました。これらの活動は、毎回基本二人のペアになって行っていたので、様々なクラスメイトとより仲を深める良い機会でもありました。</p> <p>自由時間の個人活動では、繁華街である西面や 15 分程で行くことができる釜山大学前の学生通りに行き過ぎていました。授業終わりでも十分に行くことが出来る距離で、ショッピングやカフェ、食事を楽しんでいました。3 週間で様々な場所に訪れたかったので、日本にいる時よりも頻繁に外出していました。そのおかげか、日常会話をする機会が沢山あったので有意義な時間でした。</p> <p>生活面では、寮のバスルームに少し苦戦しました。韓国ではよくある形式なのですが、トイレとシャワーが同じ空間にあり、シャワーのスペースが少し小さいので、毎回トイレまでぬれてしまうので、少し気をつけてシャワーを浴びる必要がありました。苦戦はしましたが、少し変わった面白い体験だと感じました。寮で面白かったことは地下のコンビニに行くことです。日本にない 1 + 1 の制度や多種類のカップラーメンなどを試すのが楽しかったです。現地のスタッフの方がサポートをしてくださったおかげで生活面は特に心配することなく過ごせたのでとても助かりました。</p> <p>研修に参加して、授業や体験、自由行動や寮での生活を通して、全体的に会話をする機会が多く、会話力、リスニングとスピーキングを特に伸ばすことができたと感じます。また、自分から積極的に話したり、言語レベルを心配して言葉にすることを躊躇しては会話力が伸びないと実感する良い経験でもあったと感じます。</p>	

～皆さんに聞いてみたいこと～（字数制限なし）

Q 1：この韓国語研修の経験を漢字一文字で表すなら…

「温」です。釜山の方やこの研修に関わってくださったスタッフの方々、先生や仲間の温かさを感じる場面が多かった為です。個人的に外出時など、気軽に声をかけてくださったり助けてくださったりと、親しみやすいと感じる方と出会うことが多かったです。人の温かさを強く体感した研修でした。

Q 2：この韓国語研修の魅力は？…

自分に合ったレベルのクラスでの韓国語授業やスタッフの方のしっかりしたサポート体制です。クラス分けの際は自分に合っていないのではないかと不安を抱えた方がどのレベルにもいたようですが、授業が進んでいくにつれて内容も濃くなってきたりと、濃く学ぶことができたと感じます。体調がすぐれない時や何か困った時にすぐに相談に乗ってくださるスタッフの方がいたので安心して生活できました。

Q 3：この先の研修参加者たちへのエール！…

3週間と短くも長くも感じる期間ですが、大変濃い時間で様々な経験をする事ができたと感じます。初めは慣れないことや不安が多いかもしれませんが、それらを乗り越えることで成長を実感することができるので頑張ってください。

研修の様子（フォーマットは自由にアレンジして使用してください。皆さんが作成する時点で全体が2頁に収まらなくても問題ありません。）

写真1（貼り付け／挿入）



説明（50字程度）

釜山外大の生徒との交流会の際にペダル（出前）で頼んだチキンです。美味しかったです！

写真2（貼り付け／挿入）



説明（50字程度）

慶州旅行で韓服を着ました。暑い日だったので大変でした、。

写真3（貼り付け／挿入）



説明 (50 字程度)

クラスメイトと先生の全員で最終日の授業後に、修了書もらった時の写真です。

## 釜山外国語大学語学短期留学レポート

現代国際学部グローバルビジネス学科

学籍番号 20032011

伊藤千紘

私は韓国釜山に存在する釜山外国語大学に3週間の短期留学をしました。釜山での生活は自身の語学的な成長だけでなく、自身に新しい価値観と目標を与えてくれました。

まず、自身の学びとその環境の部分を振り返ります。場所は釜山広域市南山の釜山外国語大学にて学びました。山に所在し、街の駅から大変な坂道を30分ほど登った場所にあります。景観もよく広大な学舎の1棟を留学生の学び舎とし、約200名の学生が16のクラスに分けられ学びました。授業時間は平日の午前9時より一時間の昼食休憩を経て午後4時に終了です。各50分の授業で、すべて韓国語で行われます。生徒は日本全国から集まった高校生・大学生と20名ほどのカザフスタンの学生と行いました。事前にレベル分けされたクラスは3段階の初級・中級・上級で自身は中級のクラスで学習しました。中級クラスでは読み書きは勿論とし、文法レベルとしては名古屋外国語大学の韓国語講義の中級より少し上の程度でした。しかし扱う単語や文法は日常会話で頻繁に使用されるもので大変実用的な授業内容でした。具体的には衣類などの買い物や食事の誘いでシチュレーションをレクリエーションの形でペアとともに行いました。これらの学習を全て韓国語で行うことでより生きた韓国語、話す韓国語を学べたと思います。

次に生活環境についてです。宿舎は大学敷地内に存在する学生寮で、食事も寮内で行えます。またコンビニから銀行、ジムもあり寮内だけでも充実した生活が行えます。また郵便局やネイルサロン、インセンネッコ(日本でいうプリクラ)も学校敷地内に存在しました。寮内のランドリーにて自身の洗濯物を洗うことも可能です。部屋の風通しがあまりよくないので乾燥機を使用することをお勧めします。我々留学生は基本的に一つの部屋を二人で共有し、生活を行います。洗面所はトイレ、シャワーワンルームで湯船やカーテンはなく、シャワー後の洗面所は水浸しでした。この短期留学での唯一の残念な部分です。門限は全寮生共通の午前2時まで、午前4時より外出が可能である程度の自由がありました。人生において一人暮らしの経験がなかったので恵まれた環境で一人暮らしの練習ができたように感じており、個人的には人として成長できた部分だと思います。

そして次には自身の休日や友人との思い出、印象的だったエピソードについて触れたいと思います。滞在していて感銘を受けたことは大きく2つあります。まず、現地には留学生を迎えてくれた学生たちがいました。自身はその学生と積極的に関わることを意識しました。そして感銘を受けたのは韓国の方たちは想像以上に情に厚く、仲良くなったら本当に親身に親しくなったことです。最初は歓迎会の学生のみとの交流でしたがその友人と親しく

なり学外の友人もできました。留学プログラムに含まれていたロッテワールドにも現地でも合流し一緒に行動したり、休日を一緒に過ごしたり、平日にも夜飲みに行ったりと彼らのおかげで大変順風満帆な生活を行えました。早朝に起きて食べに行ったスンドゥクッパや海雲台の夜景を車で見に行けた留学生は少ないと思います。また海雲台の夜景をスクーターの後ろに乗せてもらって見たのはとても感動的でした。海雲台の夜は若者が多く、賑わいがありました。高級車が多く駐車していて、車好きが集まりやすい傾向があると聞きました。友人だけでなく、街で出会った方たちもよい人が多かったです。言葉のわずかな違いですが、釜山の方々はひとえに“優しい”ではなく、“恩情”がある方々であると感じました。そして滞在していて感じた日本との違いが2つあります。二つはまだ洋食店が少ないと感じたことです。西面の百貨店には少数ながらも存在していましたが、街路時の方や釜山大駅の街には韓国料理店が殆どであった印象です。外国料理としては中華料理(マラタン)や日本料理店が比較的あった印象です。西面駅から一駅の田浦駅の方には市場があり、高齢者も多く今の日本では見ることが出来ないであろう活気を見ることが出来、感動しました。個人的に自由時間の友人との思い出は韓国の文化や言語をより深く学べた大変有意義な機会でした。

さいごにこの留学を通しての学びと感想を報告します。学びとして自身がえられたものは韓国語の実力と自身の夢についてです。留学は3週間との短期でしたが韓国語の実力は2倍ほどに考えております。元々が初級の挨拶程度だったのですが、今では自身のアルバイト先に訪れた韓国人の観光客を韓国語で接客を行えるほど自身がつきました。勿論、まだまだ学ぶことは多いですので、更にクオリティの高い韓国語での接客を行えるようになりたいと考えています。また、自身は留学前、大学4回生ということもあり、目の前の就職活動やアルバイトをこなすことが精一杯で夢や目標といった新しい思考が少なくなっていました。しかし、この自身の想像を超えた経験で自身がまだまだ若者で知らないことは多く存在し、学べる存在であること、自身の想像しえない楽しい出来事はこれからあるのだと前向きな意識を持つようになることが出来ました。この留学プログラムは人によって過ごした感覚は様々だと思います。勉強ほどほどの観光メインの感覚、勉強メインの留学の感覚、初対面のひとと絆を深めた合宿のような感覚。自身が感じたのは住んでいる感覚でした。3週間の短期ではありましたが、この感覚がえられたのは地元の方々と交流し過ごしたおかげだと考えています。



(釜山外国語大学学生御用達のフィルソンハルモニ。ビールが有名でパイナップル丸ごとで出てくるシャーベットとガーリックのきいたポテトフライが人気商品だそう)





(釜山外国語大学寮内のコンビニ。日本にはない+ワン商品がたくさんあった。幾つか既視感のある商品パッケージに笑みがこぼれた。父のお土産にしたら大変喜ばれた。釜山でできた友人に日本の商品を送ると約束。)



(西面駅から一駅、田浦駅近くにある田浦市場。高齢者が多く活気があり感動した。地面にそのまま魚が置いてあり、なんの実なのかわからない実やたくさんの野菜や香辛料、日本ではもう見るのできない市場だと思った。)



(釜山に行ったらこれを食べ、ミルミョン。大変おいしかったです。韓国の NAVER MAP にはマッジプと検索すると近辺のおいしく評価の高い店を出してくれる。その機能グーグルマップやアイフォンのマップにもほしいと思った。)



(釜山にあるロッテワールド。敷地は小さめだがアトラクションは一つ一つが大きめであった。制服を借りて回るのが流行スタイルだそう。)

(夜の海雲台。若者が多くいた。スクーターは1時間借りることが出来る。お金は出してくれたので金額は知らない。)



【2023 年度 PLP 韓国語短期研修，フォーマット】

作成日：

タイトル			
夢が実現した研修			
学部	英米語	学科	氏名
外国語学部			吉田まりあ
<p>釜山外国語大学は非常に施設の整った大きなキャンパスでした。クラスには他県から研修に参加した学生や他国から学びに来ている学生もいました。そのなかで私が驚いたのは私たちよりも年下の高校生も同じように韓国語を学びに来ていたということです。このことから刺激をもらって切磋琢磨韓国語の学習に取り組みました。寮では同じ学校の学生と 2 人部屋でした。彼女とはこの研修で出会いましたが、この期間を通してとても仲良くなり日本に帰ってきてからも連絡を取るほどの大切な友達を作ることが出来ました。学校の授業内では座学だけではなくグループでチラシを作ったり韓国文化を学ぶ為に伝統的なゲームをしたりとクラスメイトと交流をしながら韓国語の学習に取り組むことが出来ました。クラスメイトはみんな韓国好きなので授業はとても賑やかで楽しく韓国語を学ぶことができました。クラスメイトや釜山外国語大学の学生である韓国人の先輩方と授業を通してとても仲良くなり韓国料理をみんなで食べに行ったり、夜にお菓子パーティーをして韓国をより好きになりました。さらにクルーズツアーや韓国で有名な遊園地である「ロッテワールド」、また慶州旅行を通して個人ではいけない遠い場所まで行って学校以外では寮で同じ部屋だった友達と毎日学校終わりに予定を立ててできるだけ外出し、生の韓国語を学ぶようにしました。調べれば分かることでも目的地までの道やおすすめのご飯屋さんなど教えて貰えるようなことは自分たちから韓国人の方に話しかけてコミュニケーションをとることを意識していました。大学で複言語として学習している時は会話の練習をする機会はあまり無かったのですがこの研修で自分自身が思っている以上に韓国語を理解出来たり会話することが出来たことに気づき、自分の韓国語の能力に自信を持つことが出来るようになりました。学校の最終日には成績や修了証が配られ、その成績や先生からの素敵なメッセージからこれからも引き続き韓国語の学習を一生懸命続けていきたいと強く思えました。韓国語を学ぶだけでなく様々な人と出会い、成長できた約 20 日間でした！</p>			

～皆さんに聞いてみたいこと～（字数制限なし）

Q 1：この韓国語研修の経験を漢字一文字で表すなら... 満。心が満たされたとともに成長することができたから。

Q 2：この韓国語研修の魅力は？... 韓国好きの学生が集まるのでお互いに切磋琢磨頑張ることができる。

Q 3：この先の研修参加者たちへのエール！... できるだけ外に出てたくさんの人と交流を深めて成長するきっかけにしてください。

研修の様子（フォーマットは自由にアレンジして使用してください。皆さんが作成する時点で全体が 2 頁に収まらなくても問題ありません。）

写真1 (貼り付け/挿入)



説明 (50 字程度)

この写真は慶州旅行の際に韓服を着た時の写真です。韓国へ来たら一度は着てみたいと思っていたので非常に嬉しかったです。また韓服は様々な柄やデザインがあって自分の好みのものを選びます。私は友人と色違いのものを選択し写真を撮って満喫しました。

写真2 (貼り付け/挿入)



説明 (50 字程度)

これは「ナッコプセ」という釜山で有名な料理の写真です。鍋の中にホルモンや海鮮などが入って唐辛子で辛めに味付けされています。ナッコプセという料理は釜山に行くまで聞いたことがなかったですが学校の先生にオススメしてもらいお店の名前を覚えて自分たちだけでお店に辿り着いて食べたということも私の中で思い出になりました。

写真3 (貼り付け/挿入)



説明 (50 字程度)

この写真は学校が終わった最終日にクラスのみなどと撮った集合写真です。私のクラスには名古屋外国語大学からきた同い年の学生がおらずほとんどが他県や他国から来ている学生でした。しかし最終日にはこうやってみんなで集まって写真を撮るほど仲良くなりました。研修が終わった後でも会いたいと思えるような仲間に出会えたことが嬉しかったです。

私はこの三週間の韓国研修で様々な経験をし、たくさんのものを得ることができた。私にとってこの夏の韓国の研修がコロナ明けの初めての海外渡航だった。コロナで海外渡航ができなくなる前は姉が韓国に留学していたこともあり何度か韓国に行くことはあった。その時は姉のおかげで言語で困ることはなく楽しい旅行を送ることができていた。しかし、今回の韓国研修で言語が通じないことの大変さを身をもって経験することができた。授業では全てが韓国語で行われると聞いて授業を受ける前は不安でいっぱいだったが、担当の先生方がとても優しくわかる単語だけで授業を進めてくれたので授業に対しての不安はほとんどない状態で受けられた。全て韓国語の授業だったが、どんなときにその文法が使われどう使うのかを先生たちが教えてくださるので、日本で受ける韓国語の授業よりもはるかに内容が頭に入りやすいと感じた。また、少人数で受ける授業だったので生徒一人一人が先生とコミュニケーションが取れる環境は自分が今持っている韓国語の能力を発揮することができたので韓国語を話すには良い環境だったし、先生方も上手にできたらちゃんと褒めてくれるので韓国語学習のモチベーションにも繋がった。三週間の釜山外国語大学の寮での生活は、初めて会う人と同じ部屋で生活したり、シャワー室がトイレと洗面所と一緒にだったり、毎回一食には辛い食べ物がついている学食だったり、洗濯するのに30分は洗濯機の前で待っていないといけなかったりと、自分にとっては慣れないものばかりだったが、この生活のおかげで寮でくらす学生たちの気持ちを身をもって知ることができた。一人暮らしをしている私からしたら、この韓国での寮の暮らしは常に誰かと一緒に時間を過ごすことができ、たくさんの思い出が作れたのでとても濃い時間だった。特に名前も顔も知らない状態で同じ部屋でルームメイトと暮らすことは、暮らす環境や習慣が違うので最初の方はとても緊張した。しかしお互いが配慮し合うことで喧嘩することなく最後まで良い雰囲気での生活することができた。部屋に必要なものを用意しあったり、相手の気持ちを汲み取って行動することが他人を理解することなんだと気づくことができた。また、韓国の学生と実際に交流する機会は私のなかでも刺激的なものだった。初めは自分が韓国語を聞き取るところか話すこともままならない状態なので韓国の学生と交流することにとっても不安を感じていたが、同じグループになった先輩方が教えてくださったり、韓国の学生が優しい人で、私が話す韓国語を真剣に聞いてくれたので楽しい時間を過ごすことができた。それに韓国の学生と時間を共に過ごすにつれて言語が通じない学生と交流することに不安を持っていたのは私だけではなく韓国の学生もそうであったと知って、言語は違っても感じることや思うことは同じなんだと気づくことができた。現地の学生が連れて行ってくれた場所や紹介してくれた食べ物は全部新鮮で忘れられない思い出になった。この研修を通して韓国の文化や人に触れることで、もともと好きだった韓国がより好きになったしもっと韓国語が上手になりたいと思った。



韓国語の授業でペアになった東洋大学の生徒が作ってくれた私のコーデです。これをきっかけに仲良くなれたのが嬉しかったです。



学生交流でのグループと韓国の学生のスピンオンニです。人生初の栗の味のマッコリとカモの肉はとても美味しかったです。



研修中に仲良くなった九州の大学の子達です。このメンバーで海雲台や温泉に行きました。12月に名古屋で会う約束ができました。楽しみです。